
ロキグループ マレーシア工場に「MCFrame」を短期導入 ～海外初の生産拠点と販社をクラウドで連携し、業務効率化を図る～

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社(本社:東京都千代田区、取締役社長:大澤正典、以下 B-EN-G)は、ロキグループホールディングス株式会社(本社東京都品川区、代表取締役社長兼最高経営責任者:伊東伸、以下 ロキグループ)が、マレーシアでの工場新設に伴い、「MCFrame」の簡易版「MCFrame CS Start-Up Edition」(以下 MCFrame Start-Up)の生産管理モジュールを同工場で、株式会社 IJ グローバルソリューションズ(東京都千代田区、代表取締役社長:岩澤利典、以下 IJ グローバル)が提供するクラウドベースの「A.S.I.A. GP SaaS on IJ GIO」の ERP 版を海外販売会社で稼働させたことを発表します。今回の工場用と販売会社用海外システムの導入は、準備期間も含め7ヶ月でした。

■工場システムとして「MCFrame Start-Up」を導入し、iPad を通じて必要な情報をリアルタイムに取得

ロキグループは、産業用フィルターの専門メーカーで、エレクトロニクス、ケミカル、一般産業、水処理、ファインケミカル、飲料・食品等の様々な工業分野から、オゾンやアクア関連の分野まで事業を広げています。近年多くの顧客企業がグローバルに事業を展開しはじめたことから、日本からの輸出だけでは、コスト面、サービス面で顧客企業を十分に支援することができなくなりました。そこで、2014年4月に海外初の生産拠点としてマレーシア工場を開設しました。その際、マレーシア工場に「MCFrame Start-Up」の生産管理を2ヶ月で導入、パッケージの業務フローに合わせ、現場の業務のシンプル化を図るとともに、「部材照合システム」とiPadの連携を実現しました。また、棚卸し作業でもiPadを活用し、リアルタイムな情報の取得を可能としました。

■販社用販売システムにクラウドの「A.S.I.A. GP SaaS on IJ GIO」採用し、現地での運用管理負荷ゼロを実現

ロキグループは、マレーシア工場と連携する海外販社3拠点(シンガポール、韓国、マレーシア)へ「A.S.I.A. GP SaaS on IJ GIO」を導入し、販売管理、購買管理、債権・債務管理を稼働させました。クラウドベースのため、現地の運用負荷がなく、多通貨・多基準対応による自社での会計処理、および為替変動による差損益のシミュレーションが可能となりました。各拠点への導入期間は約2ヶ月でした。

■短期導入、拡張性、スモールスタートが採用のポイント

今回のシステム採用で同社が重視したことは、言語追加が容易、分社・統合等の組織変更に柔軟に対応、さらに、生産管理システムの国内展開を見据えたことです。

各製品の採用の理由は下記の通りです。

- 1) 見込生産・受注生産の双方に対応可能 (MCFrame Start-Up)
- 2) 工場内の業務プロセスがパッケージの標準プロセスに合わせられる (MCFrame Start-Up)
- 3) iPad に対応 (MCFrame Start-Up)
- 4) 短期導入と拡張性を活かしたスモールスタートの実現 (MCFrame/ A.S.I.A. GP SaaS on IJ GIO)
- 5) 言語切り替えが容易 (MCFrame Start-Up /A.S.I.A. GP SaaS on IJ GIO)
- 6) 多言語、多通貨、多基準対応 (A.S.I.A. GP SaaS on IJ GIO)
- 7) 現地の負荷ゼロを実現するクラウドサービス (A.S.I.A. GP SaaS on IJ GIO)

ロキグループは、他の地域の販売拠点に「A.S.I.A. on IJ GIO」を導入中で、2015 年 1 月から稼働予定です。なお、生産管理は東洋ビジネスエンジニアリング、販売管理は IJ グローバルがシステム導入を支援しました。

MCFrame Start-Up Edition とは

海外拠点に必要な「生産・販売管理」と「原価管理」に機能を絞り、導入と運用のためのドキュメントとツール群をセットしたコンパクト・バージョンで、海外拠点での ERP 短期導入を促進します。必要最低限の機能で短期導入した後も、拠点業務の成熟度や事業の拡大にあわせて、上位バージョンである「MCFrame CS」にデータの移行無しでアップグレードができるため、リーズナブルに長期間の利用が可能です。また、海外特有の言葉の壁や人の入れ替わりなどの課題に対しても、直感的なメニュー構成や画面デザイン、分かりやすいマスタ設定などの特長により対応。マニュアル整備や教育実施といった導入時のコストも、従来よりも大幅に削減できます。

A.S.I.A. GP SaaS on IJ GIO とは

会計から販売／購買／在庫管理まで、海外拠点の業務に必要な機能を網羅した ERP パッケージ「A.S.I.A.」(多言語・多通貨・多会計基準に対応)を、株式会社インターネットイニシアティブが提供する高品質なクラウドサービス「IJ GIO」の基盤上に構築し、月額課金のクラウドサービスとして提供します。サービスの詳細等は、http://www.ijiglobal.co.jp/service/service01/asia_on_ijigio.html をご覧ください。

以上

■MCFrame について

「MCFrame」は、日本の製造業のお客様に求められるきめ細かな管理に対応し、各種機能を備える生産管理、販売管理、原価管理システムです。「MCFrame」の特徴は、豊富な標準機能と、コアコンピタンスにつながる各社固有の業務プロセスに、柔軟かつ効率的に追従できるフレームワーク構造です。「MCFrame」の大きな特長であるこのような高機能と柔軟性・拡張性を高く評価いただき、製造業を中心に400社を超えるお客様にご採用いただいています。多言語対応しており、ここ数年は、中国、タイを始めとするアジア各国に進出する日系企業様向けのグローバルなシステムの構築にも選択いただいています。製品の詳細等は、<http://www.mcframe.com> をご覧ください。

■ロキグループホールディングス株式会社について

ロキグループホールディングス(ロキグループ)は産業フィルターの専門メーカーとして各種産業の製造工程に使用される液体濾過用のフィルターカートリッジおよびフィルターシステムの製造・販売を主力事業としています。液体中から限定された物質だけを取り除く「分級濾過」の技術を武器に、産業界の製品づくりとその成長を支えてきました。この歩みの中で、ロキグループの根幹にあるテーマ、「濾過技術」についての研鑽を積み、オゾン分野やアクア分野(給水機・浄水器)、コンシューマー向け製品(IKOR(イコー)シリーズ)にも活躍の場を広げています。濾過技術はマイクロ単位の粒子をコントロールする繊細なもので、ロキグループはこれまで積み上げてきた技術力をもってお客様ニーズに対しタイムリーにお応えしています。

ロキグループの詳細は <http://www.rokigrp.com/> をご覧ください。

■東洋ビジネスエンジニアリング株式会社について

東洋ビジネスエンジニアリング(B-EN-G)はIT企画、BPR実施のビジネスコンサルティング、IT導入コンサルティングから、システム構築サービス、運用サービスにわたり、ERPを中心に豊富な実績を有するビジネスエンジニアリング企業です。またERPをベースとしたSCM、CRM導入支援ならびに中国やアセアンを初めとしたグローバル展開支援での実績を積み重ねています。

東洋ビジネスエンジニアリングの詳細は <http://www.to-be.co.jp/> をご覧ください。

【当報道に関してのお問い合わせ窓口】

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 業務管理本部 広報 猪野 肇
電話:03-3510-1615 / E-mail:kouhou@it.to-be.co.jp

【当サービスに関してのお問い合わせ窓口】

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 プロダクト事業本部 営業本部
電話:03-3510-1616 / E-mail:mcframe@it.to-be.co.jp

* 本ニュースリリースに記載されている社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。